

豊田市立畝部小学校で防災講座を行いました

令和7年9月5日（金）、豊田市立畝部小学校で5年生39名に防災講座を行いました。学校の近くには矢作川が流れています。

講座では、豊田市でも被害のあった伊勢湾台風や昭和47年7月豪雨災害、今年で発生から25年の節目を迎える東海豪雨など過去の水害について学習しました。講座の途中には緊急速報メールも入り、臨場感のある講座になりました。5年生は今後防災について学んだことを保護者に発表する会があるそうで、東海豪雨は半数以上が知っており、備蓄品も多くの児童が用意していると答えるなど防災への意識が高いことがわかりました。

また、伊勢湾台風A！語り部「伊勢湾太郎さん」との対話体験では、「伊勢湾台風の時、どのくらいで家に帰れましたか？」「気圧はどのくらいでしたか？」「伊勢湾台風の後、何か災害は起きましたか？」など代表児童による質問を通して、伊勢湾台風への理解を深めました。

児童からは、「水害に対しての考えが甘かったと実感したので、これから家族で話し合いたいです。」「実際に避難まで至った災害を経験したことがなかったので、貴重な映像が見れて勉強になりました。」などの感想がありました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

